

(宮崎県商工会議所連合会 共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

2021年7月～9月期

第102回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - (1)前期比 令和3年4月～6月比
 - (2)前年同期比 令和2年7月～9月比
 - (3)来期見通し 令和3年10月～12月見通し
5. 業種別の景気動向
 - (1)製造業
 - (2)建設業
 - (3)卸売業
 - (4)小売業
 - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	146社
回答率	29.2%

(業種別)

製造業	42社
建設業	30社
卸売業	12社
小売業	28社
サービス業	34社
合計	146社

(2) 調査対象月

2021年7月～9月期

(3) 調査依頼期間

2021年9月29日(水) ～ 10月15日(金)

(4) 調査内容

調査対象の第2四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(5) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(6) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

2. 調査結果(DI)

DIとは（景況判断指数）とは

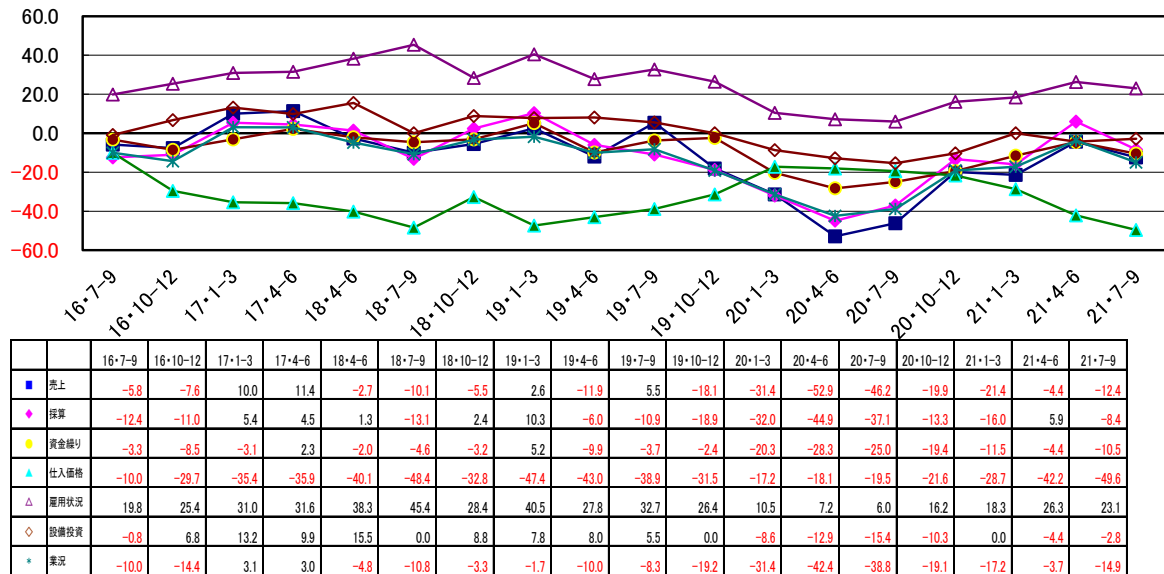
DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりという意味します。

売上DI	= (増加回答の割合)	—	(減少回答の割合)		
採算DI	= (好転	〃) — (悪化	〃)
資金繰りDI	= (好転	〃) — (悪化	〃)
仕入価格DI	= (下落	〃) — (上昇	〃)
雇用状況DI	= (不足	〃) — (過剰	〃)
設備投資DI	= (拡大	〃) — (減少	〃)
業況DI	= (好転	〃) — (悪化	〃)

2. 調査結果(DI)

前年同期比(全企業DIの6か年の推移)



3. 概況

初のまん延防止等重点措置発令の影響

(1) 今期の特徴

今期は、東京を中心に2020年東京オリンピックが開催され、宮崎では8月に県独自の緊急事態宣言が発令された。その後、新型コロナウイルス感染症の感染者数増加のため、まん延防止等重点措置が本県にも発令され、より県民と事業所に対して厳しい制限が設けられた。飲食業に関しては、時短要請等に関する支援金や月次支援金、飲食業以外の業種に対しては、県、市の緊急支援金など、支援策が講じられた。

(2) 来期の見通し

来期の見通しについては、新型コロナウイルス感染症の第6波を懸念するコメントや仕入価格の上昇による利益減少を懸念するコメントがみられた。一方、県独自の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除に対する制限の緩和や年末商戦に向かったの業況の好転を期待するコメントがみられた。

(3) 経営上の問題点

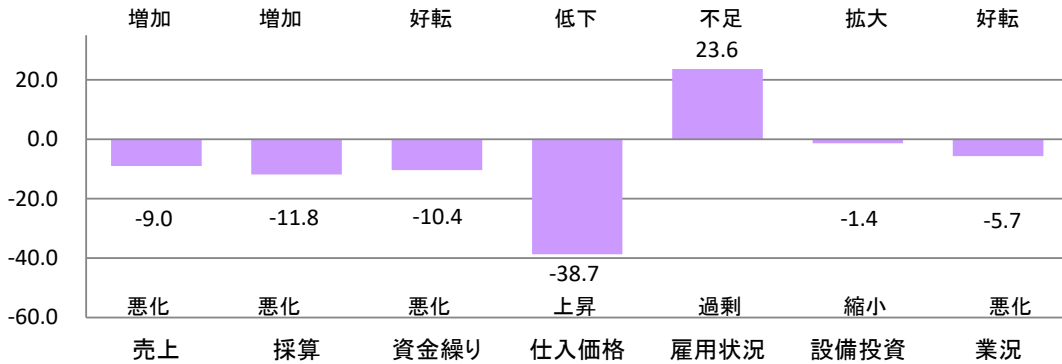
1位「需要の停滞」、2位「原材料(仕入単価)価格の上昇」、3位「従業員の不足」、4位「熟練技術者(従業員)の不足」、5位「人件費の増加」という結果になった。

(4) 今後の対応策

1位「生産性を向上させたい」、2位「従業員を新規雇用したい」、3位「新規市場を開拓したい」、4位「その他の合理化を実施したい」、5位「新製品の開発を行いたい」という結果になった。

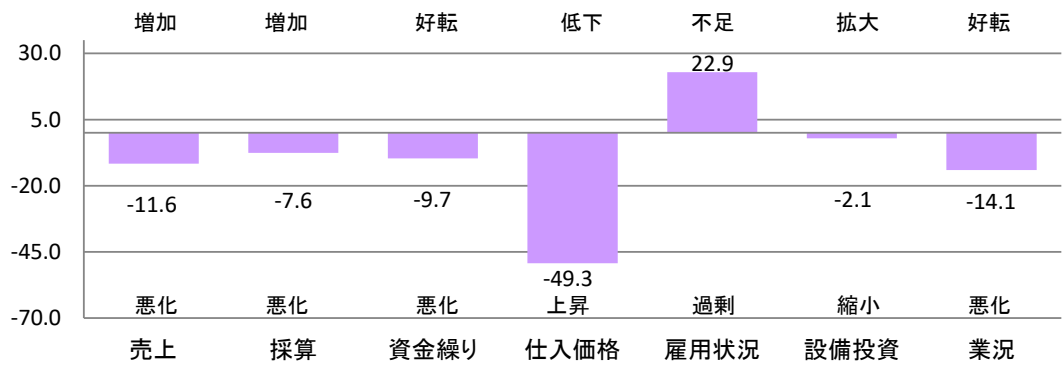
4. 県内の景気動向(全業種)

前期比 令和3年4月～6月比



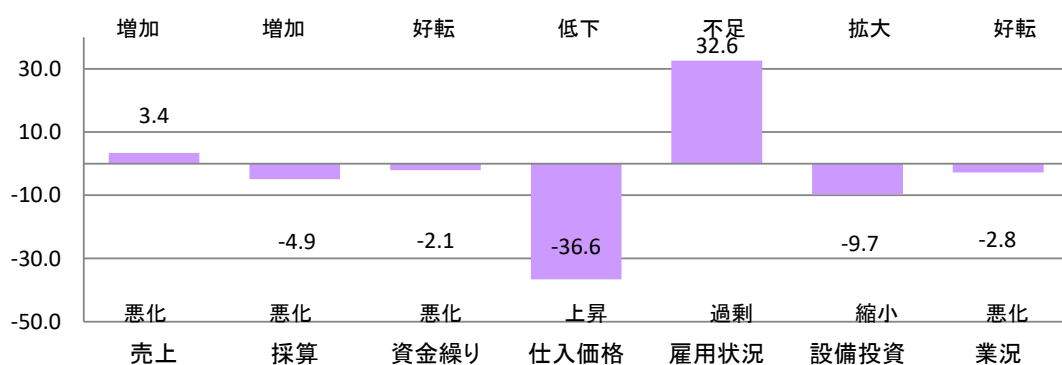
前期と比較すると、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスを示す結果となった。
8月に県独自の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されたことをうけ、どの業種においても売上DIは0またはマイナスを示す結果となった。また、仕入価格の上昇の影響により業況が悪化したとのコメントが製造業、建設業、小売業で多くみられた。

前年同期比 令和2年7月～9月比



前年と比較すると、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスを示す結果となった。
製造業、小売業においては売上DIがプラスを示す結果となったが、その他の業種においては、大幅なマイナスを示す結果となった。今期は県独自の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されたことで業況が悪化したとのコメントがみられた。

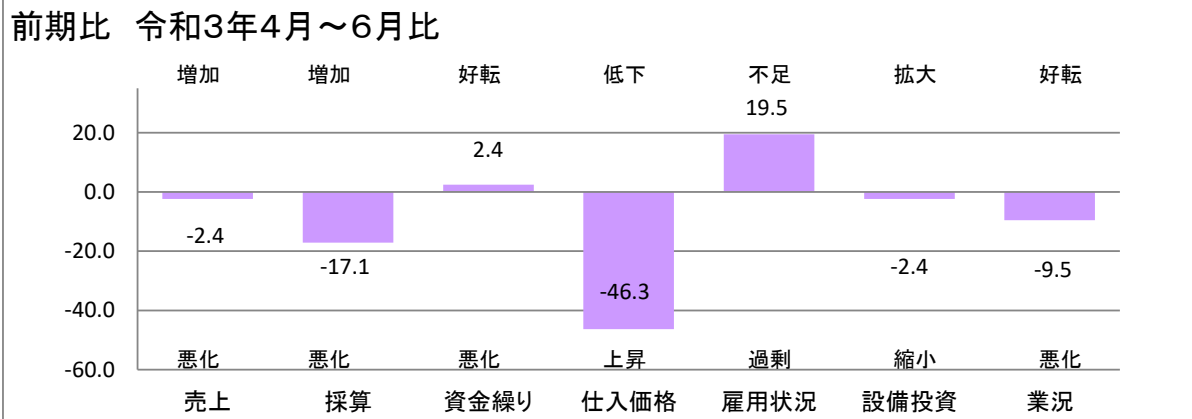
来期見通し 令和3年10月～12月見通し



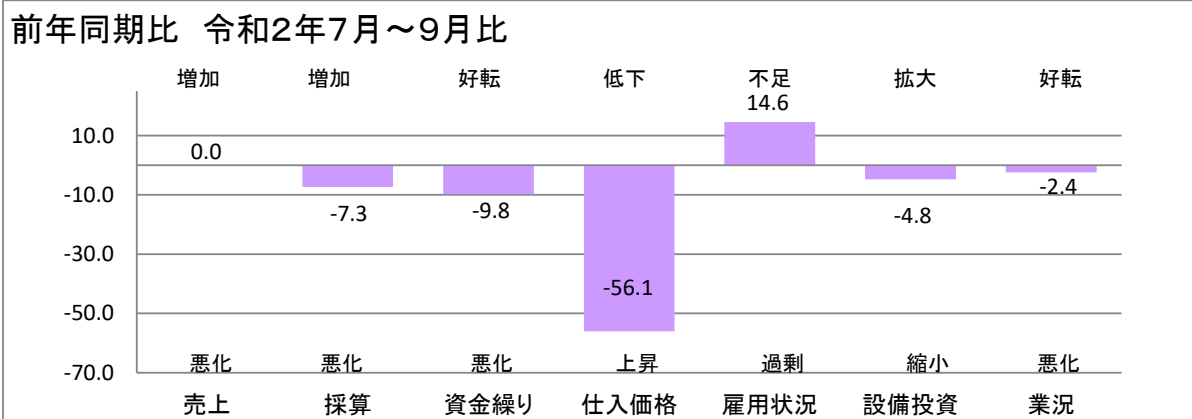
来期の見通しは、売上DIは増加、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスを示す結果となった。
新型コロナウイルス感染症の影響は今後も続く予想し、先行きを不安視するコメントがみられるものの、県独自の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除による制限の緩和や業況の回復を期待するコメントがみられた。

5. 業種別の景気動向

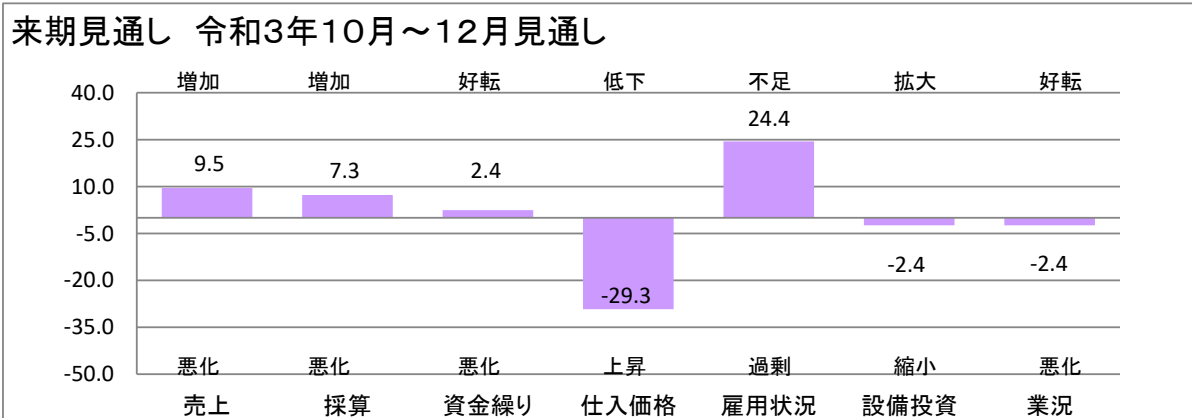
(1) 製造業



前期と比較すると、資金繰りDIは好転、雇用状況DIは不足、その他の項目は0またはマイナスの数値を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響で、厳しい状況が続いているというコメントが多くみられた。また、一部の製造業では、半導体の不足や石炭代、電力代の上昇により減産となり、業況が悪化したとのコメントもみられた。



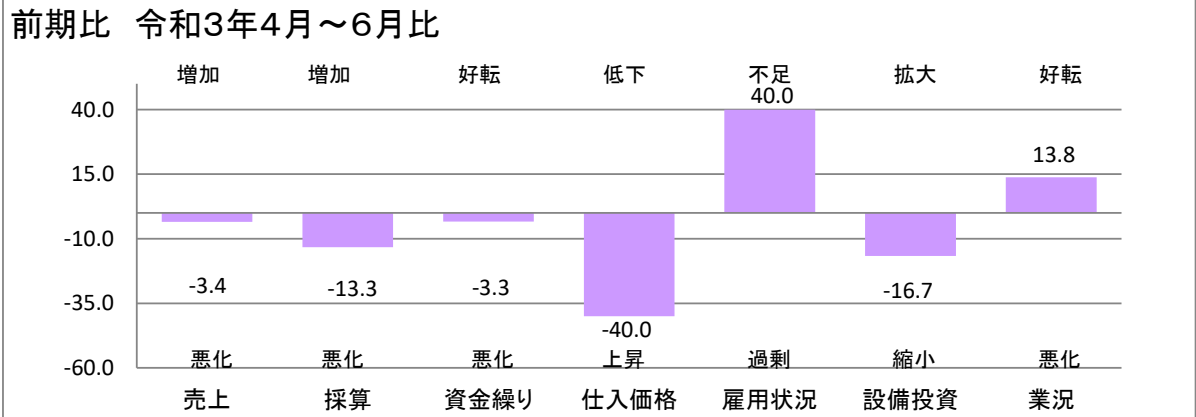
前年同期と比較すると、売上DIは好転、雇用状況DIは不足、その他の項目は0またはマイナスを示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響は継続するものの、前年より業況が改善したというコメントがみられた。一部の製造業では、原材料価格の高騰で半導体が入所困難の状況になり、業況が悪化したとのコメントがみられた。



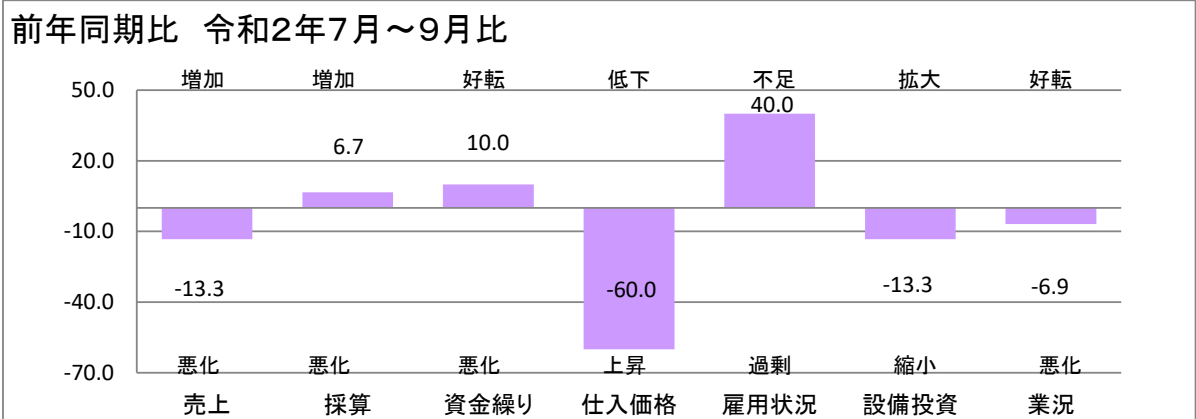
来期の見通しは、雇用状況DIは不足、仕入価格DI、設備投資DI、業況DIはマイナスを示したが、売上DI、採算DI、資金繰りDIはプラスを示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況が続くというコメントがみられるなか、一部の製材業や焼酎製造販売では、来期に繁忙期を迎えるため、業況の好転を期待するコメントがみられた。

5. 業種別の景気動向

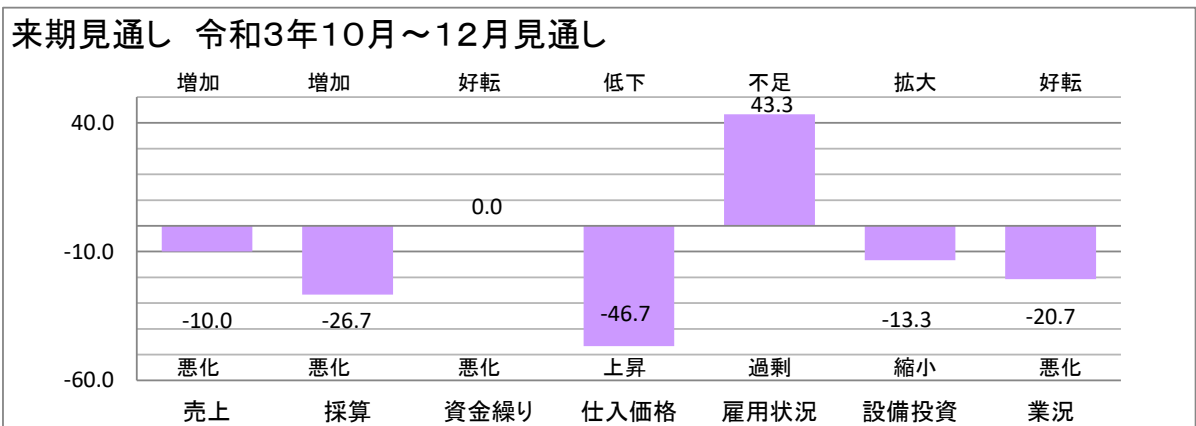
(2) 建設業



前期と比較すると、業況DIは好転、雇用状況DIは不足を示すも、その他の項目はマイナスを示す結果となった。公共工事の発注時期に伴い工事が増加したとのコメントがみられるなか、一部の建設工事では、木材価格と仕入材料価格の上昇により業況が悪化したとのコメントがみられた。



前年同期と比較すると、採算DIは増加、資金繰りDIは好転、雇用状況DIは不足を示し、その他の項目はマイナスを示す結果となった。一部では、前年は大型案件があり、今期との受注高が異なるため、業況が悪化したとのコメントがみられた。

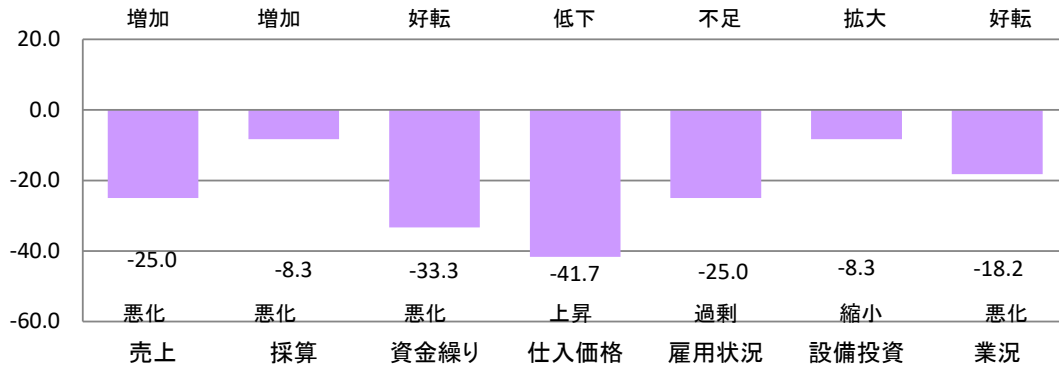


来期見通しは、雇用状況DIは不足、その他の項目は0またはマイナスを示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の塗装業では自動車産業全体で生産台数が減少しているため、その影響で業況が悪化するのではないかと懸念するコメントがみられた。また、従業員を長く休ませたことにより、他社に就職してしまい人出不足になりそうとのコメントもみられた。

5. 業種別の景気動向

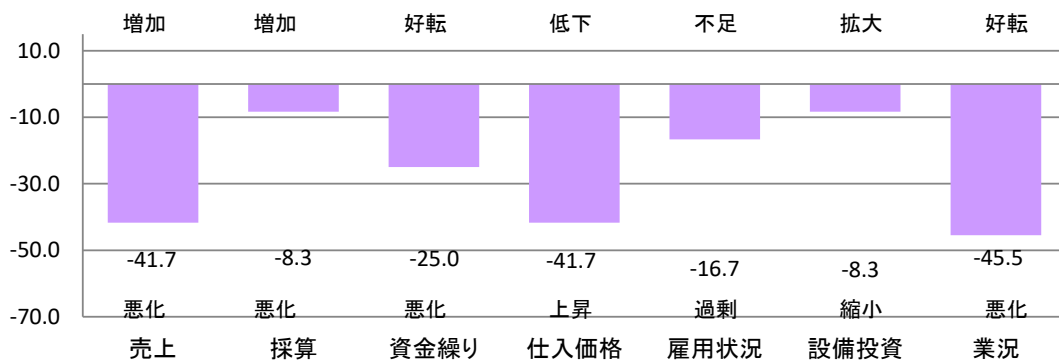
(3) 卸売業

前期比 令和3年4月～6月比



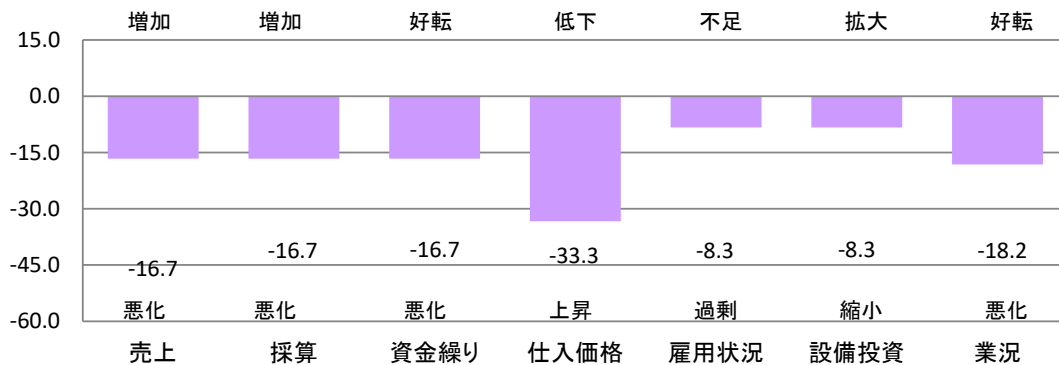
前期と比較すると、全ての項目でマイナスを示し、特に雇用状況DIは過剰を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、県独自の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されたことによる業況が悪化したとのコメントがみられた。酒類・食品卸売業では、宣言や発令の影響を大きく受ける飲食店に対する売上が大幅に減少したとのコメントもみられた。

前年同期比 令和2年7月～9月比



前年と比較すると、全ての項目でマイナスを示し、特に雇用状況DIは過剰を示す結果となった。前年は、県独自の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出ていなかったため、大幅な数値のマイナスにつながったと予想される。特にまん延防止等重点措置の対象エリアとなった卸売業は業務用の売上に大きく影響を受けたとのコメントがみられた。

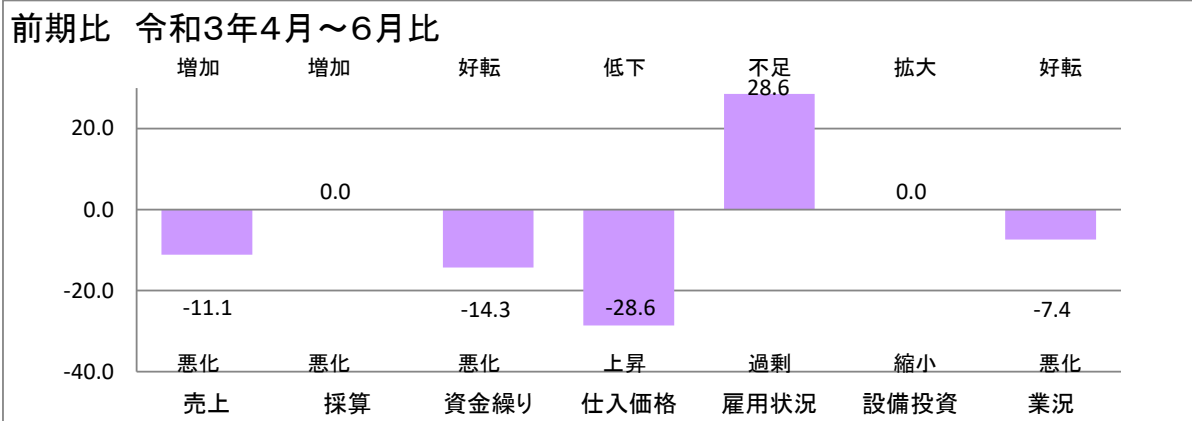
来期見通し 令和3年10月～12月見通し



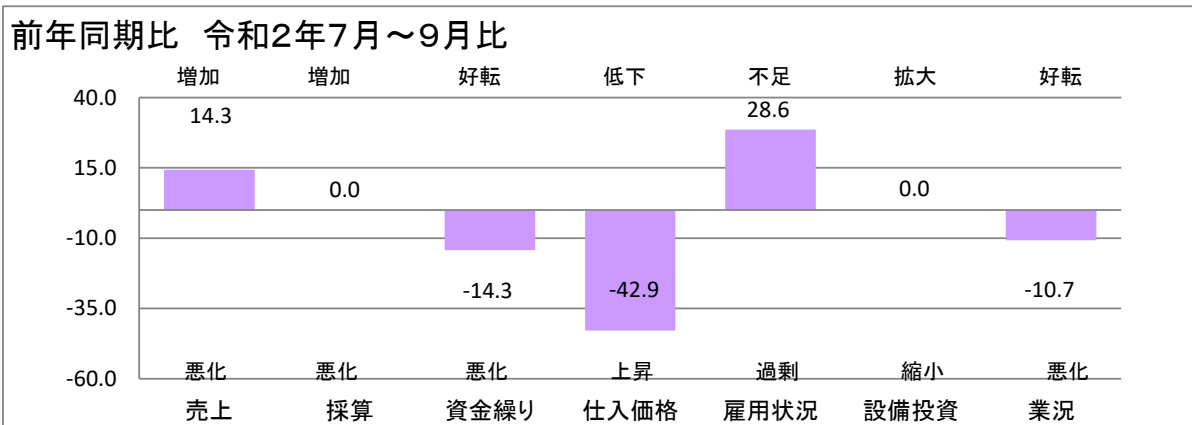
来期の見通しは、全ての項目でマイナスを示し、特に雇用状況DIは過剰を示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の第6波を懸念するコメントがみられるなか、年末商戦に向かって好転すると期待するコメントもみられた。また、9月末までで県独自の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除されるため、飲食関連における制限の緩和による業況の改善を期待するコメントもみられた。

5. 業種別の景気動向

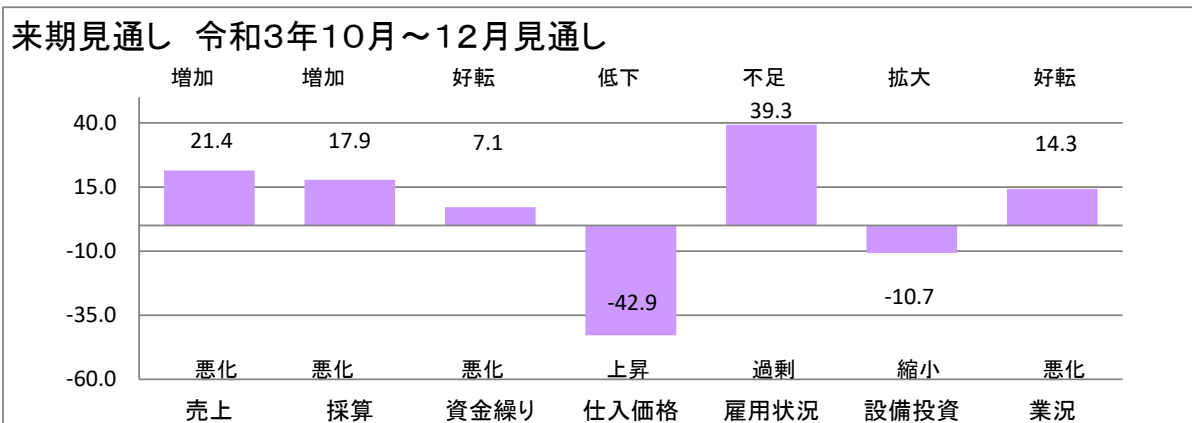
(4) 小売業



前期と比較すると、雇用状況DIは不足、その他の項目は0またはマイナスを示す結果となった。県独自の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されたことにより人の動きがなくなり、売上が減少したとのコメントがみられた。また、仕入価格の高騰し、業況が悪化したとのことコメントもみられた。

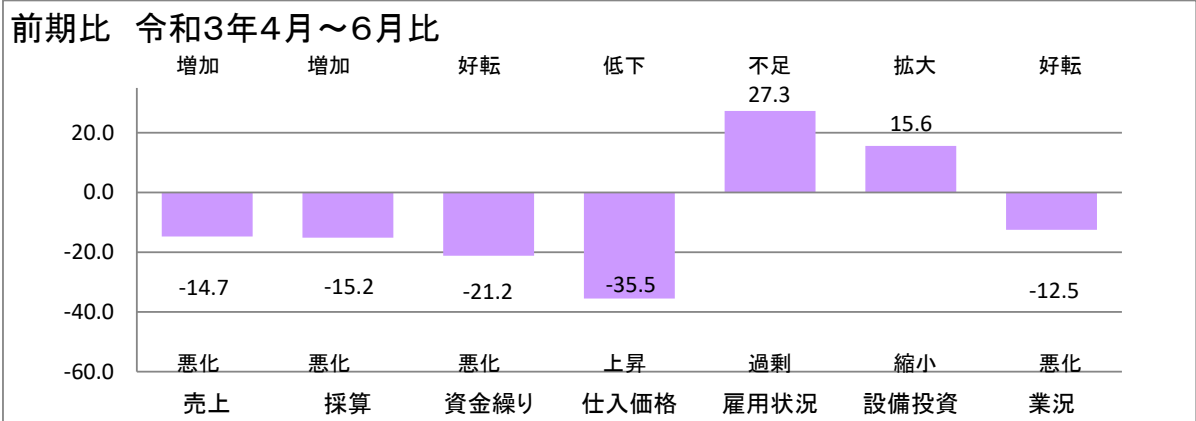


前年と比較すると、売上DIが好転、雇用状況DIは不足、その他の項目は0またはマイナスを示す結果となった。今期は県独自の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されたことによる影響が業況悪化につながった。また、一部の石油小売では、前年より売上が増加しているが、仕入価格の上昇により利益が減少したとのコメントもみられた。

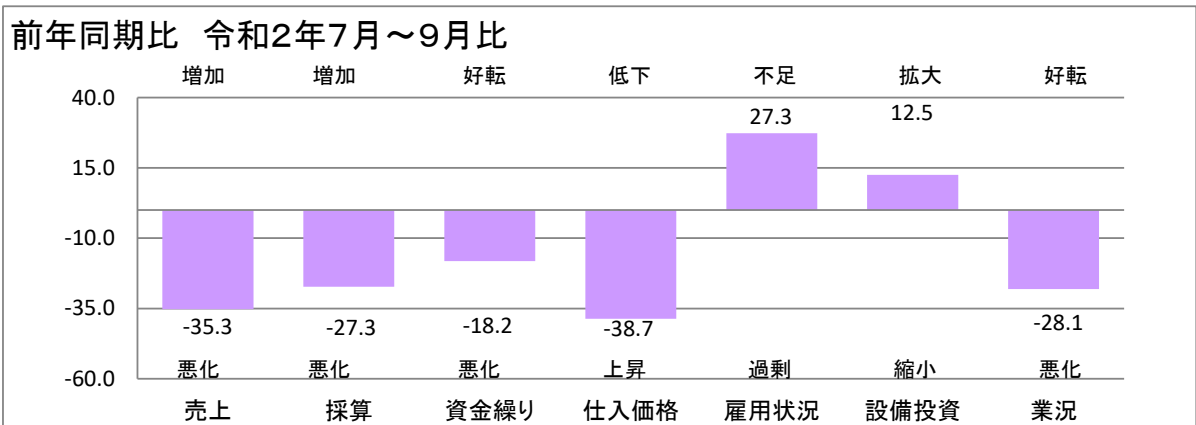


来期の見通しは、雇用状況DIが不足、仕入価格DI、設備投資DIはマイナスを示すも、その他の項目はプラスを示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を懸念するコメントがみられた。一方、県独自の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除され、イベントの再開や忘年会の開催などを期待するコメントもみられた。

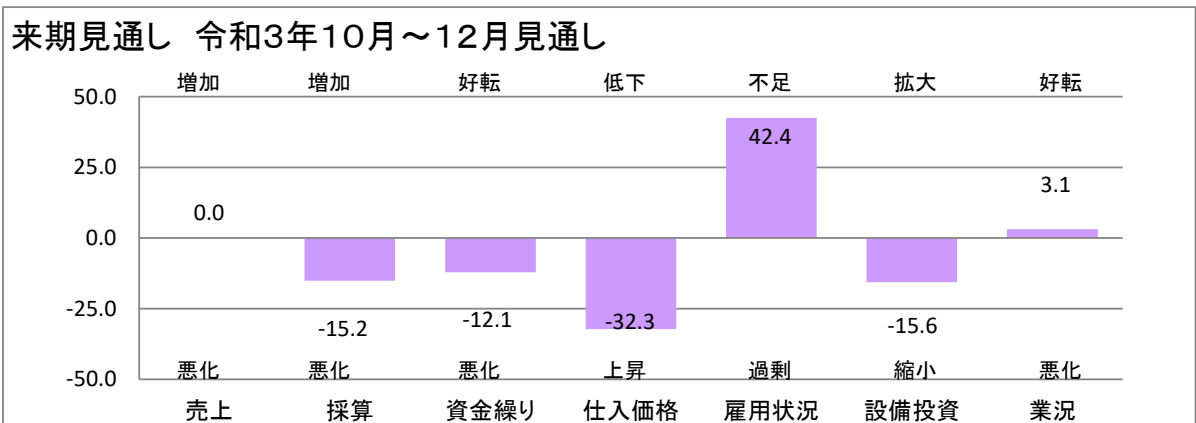
5. 業種別の景気動向 (5) サービス業



前期と比較すると、設備投資DIは拡大、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスを示す結果となった。県独自の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されたことによる、往來の自粛やジモミヤタビキャンペーンの停止などにより、売上が減少し、業況が悪化したとのコメントがみられた。



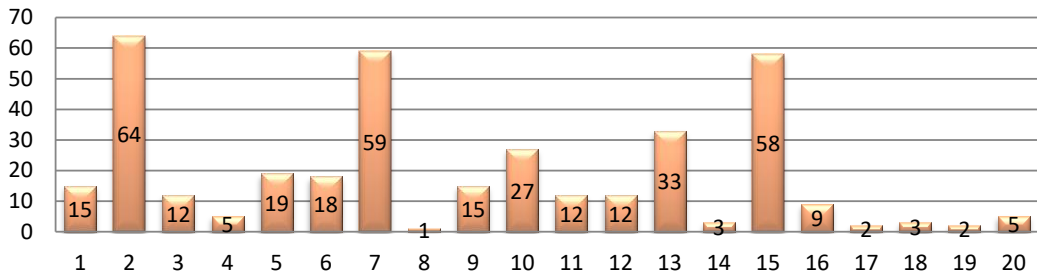
前年と比較すると、設備投資DIは拡大、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスを示す結果となった。今期は県独自の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されたことによる影響が業況悪化につながった。また、GoToトラベルの停止もあり、数値の悪化につながったと予想される。



来期の見通しは、業況DIは好転、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスを示す結果となった。新型コロナウイルス感染症の収束と県独自の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除され、客足が回復することを期待するコメントがみられた。

6. 経営上の問題点

全業種



順位

1位 需要の停滞

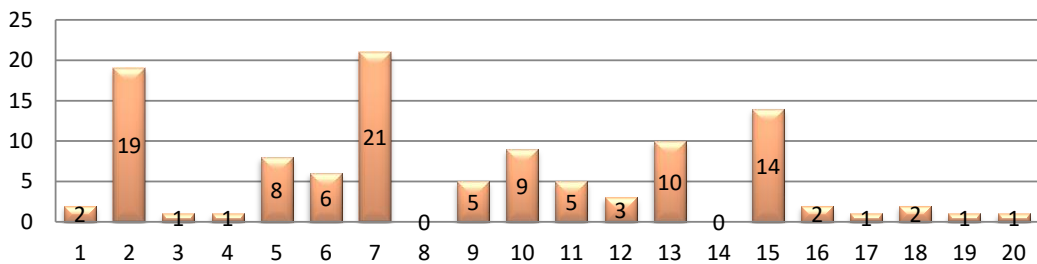
4位 熟練技術者(従業者)の不足

2位 原材料(仕入単価)価格の上昇

5位 人件費の増加

3位 従業員の不足

製造業



順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

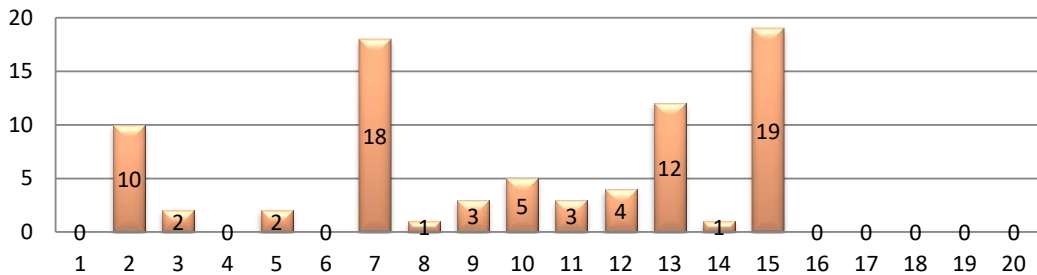
4位 熟練技術者(従業者)の不足

2位 需要の停滞

5位 人件費の増加

3位 従業員の不足

建設業



順位

1位 従業員の不足

4位 需要の停滞

2位 原材料(仕入単価)価格の上昇

5位 人件費の増加

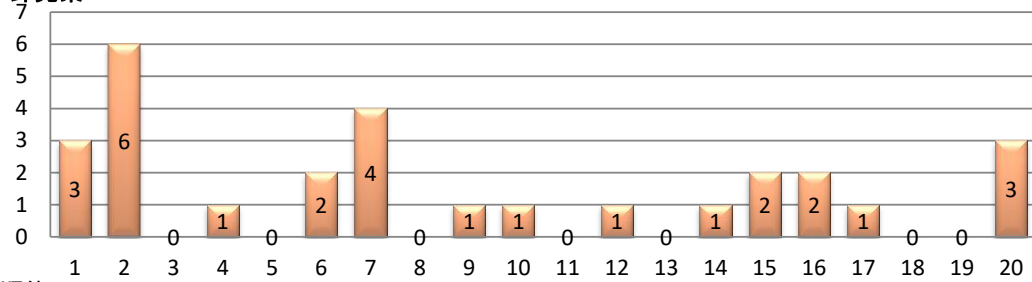
3位 熟練技術者(従業者)の不足

【項目一覧】

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

6. 経営上の問題点

卸売業



順位

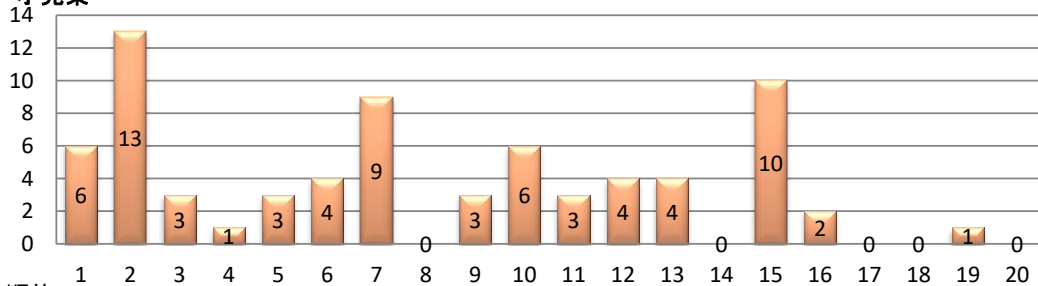
1位 需要の停滞

3位 代金回収の悪化

2位 原材料(仕入単価)価格の上昇

3位 県外大手企業の進出による競争の激化

小売業



順位

1位 需要の停滞

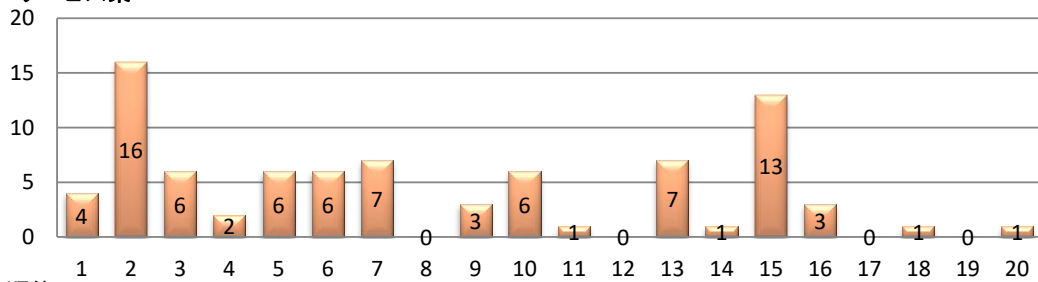
4位 県外大手企業の進出による競争の激化

2位 従業員の不足

4位 人件費の増加

3位 原材料(仕入単価)価格の上昇

サービス業



順位

1位 需要の停滞

3位 熟練技術者(従業者)の不足

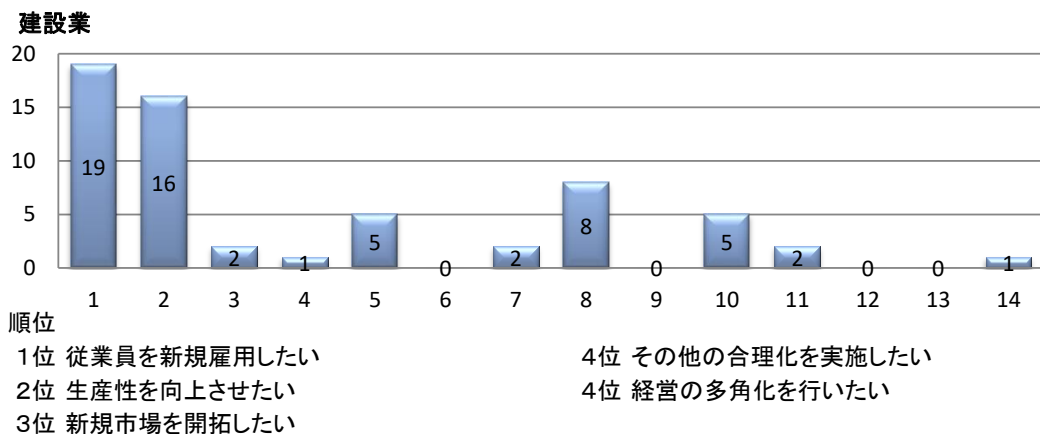
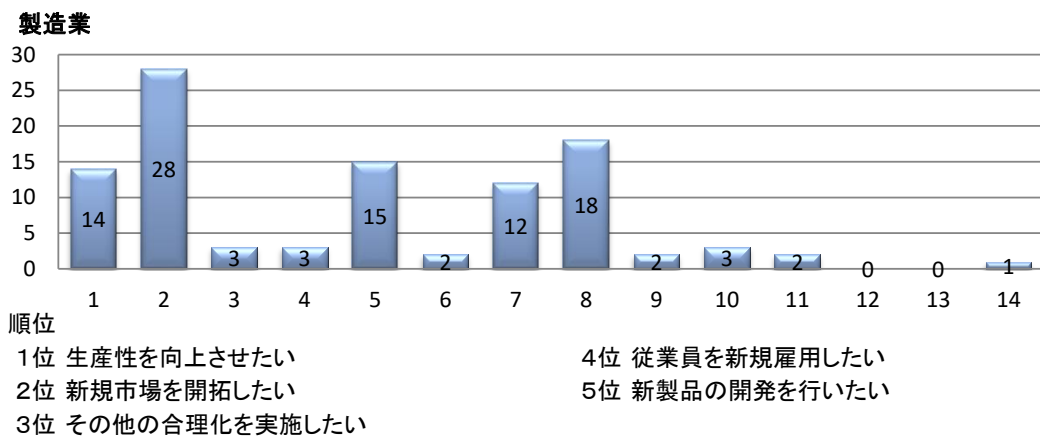
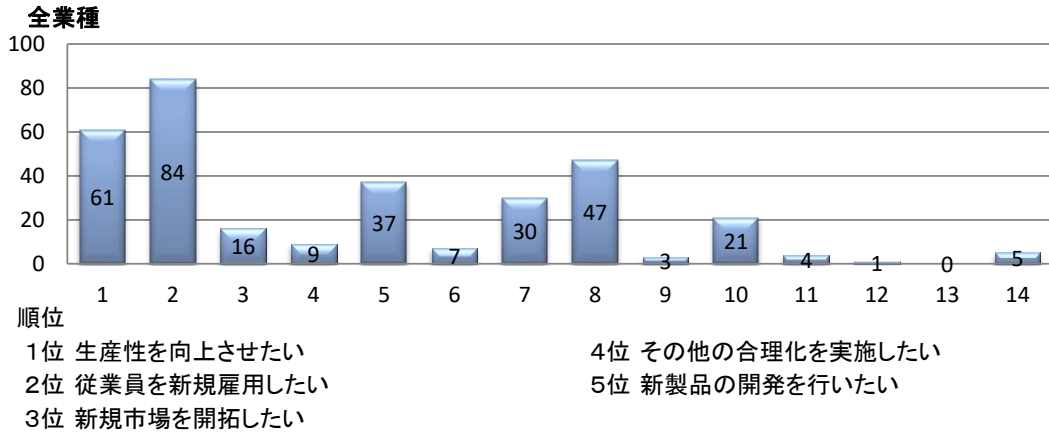
2位 従業員の不足

3位 原材料(仕入単価)価格の上昇

【項目一覧】

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 為替相場による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

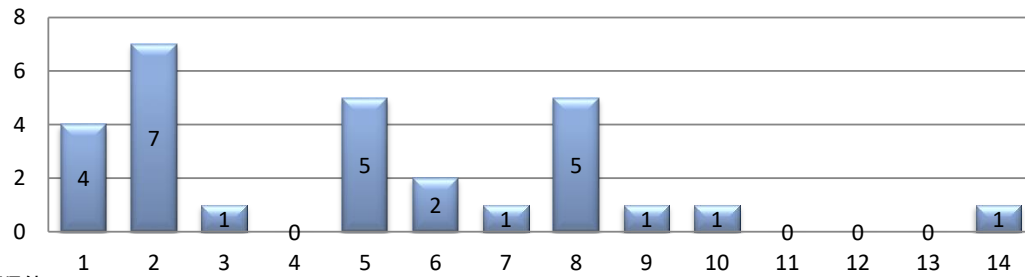


【項目一覧】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 7.新製品の開発を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 9.業種転換を行いたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | 13.海外から原料・部品を調達したい |

7. 今後の対応策

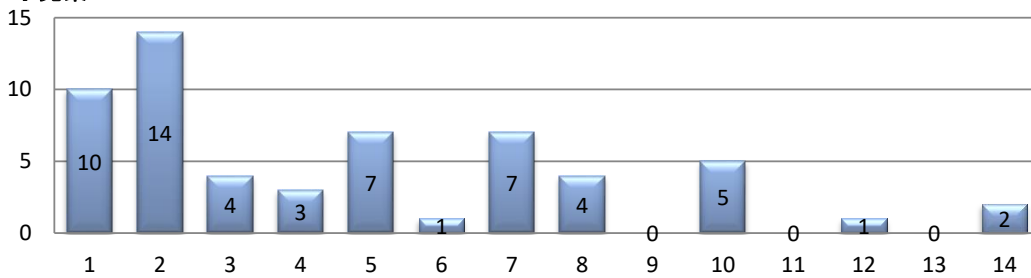
卸売業



順位

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1位 生産性を向上させたい | 4位 従業員を新規雇用したい |
| 2位 その他の合理化を実施したい | 5位 金融機関から資金を調達したい |
| 3位 新規市場を開拓したい | 5位 新製品の開発を行いたい |

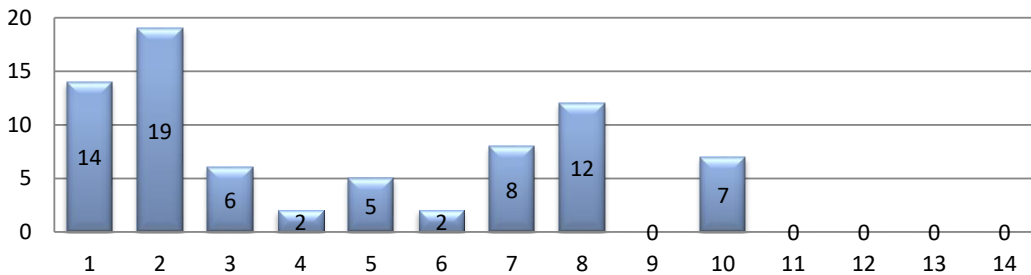
小売業



順位

- | | |
|------------------|----------------|
| 1位 生産性を向上させたい | 3位 新製品の開発を行いたい |
| 2位 従業員を新規雇用したい | 5位 新規事業を開拓したい |
| 3位 その他の合理化を実施したい | 5位 経営の多角化を行いたい |

サービス業



順位

- | | |
|----------------|----------------|
| 1位 生産性を向上させたい | 4位 新製品の開発を行いたい |
| 2位 従業員を新規雇用したい | 5位 経営の多角化を行いたい |
| 3位 新規市場を開拓したい | |

【項目一覧】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 7.新製品の開発を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 9.業種転換を行いたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | 13.海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	地域	国県への要望
製造業	自動車金属部品製造	日南	補助金の充実化してほしい。
製造業	コンクリート製品	日南	各資材の高騰対策。公共事業発注の平等化。
製造業	電機機械器具製造業	延岡	新型コロナウイルスの影響により国外で製造している原材料の納期遅延が発生している。当社も製造業の事業においては、生産や納品の遅延に繋がる恐れがある。製造業の国内回帰や材料メーカーへの支援をお願いしたい。
製造業	製材業	都城	新型コロナウイルスが多大な悪影響を人々に与え苦しみを与えた。元の生活に戻れない人も大勢いると思うがここへ来てインフレの波も襲って来ている。困窮している個人や企業に給付金や助成金等迅速な対応を希望する。
製造業	豆腐製造業	宮崎	助成金の減少率の50%は我々の業界においては商品の性格上きつい。前期に検討して最悪の月が前年比52%で50%未満に至らず助成金0円。せめて40%減で××円、30%減で××円と中をもった政策が妥当で助成金の総額は不変。
製造業	焼酎製造販売	日南	コロナ禍で日南の蔵がどこまで疲弊しているか供給が難しくなった。 原料芋の現況等どこまで生の声を聞いておられるか？問題山積み。 第6波が来れば絶対又酒類がスケープゴードになるのだろうし、今迄、料飲店に関連する業種にはほとんど何も支援策はなかったから、宮崎焼酎の飲酒文化を支えてきた日南焼酎は、このままでは守れないと感じている。支援申請を簡素化し数値のハードルを下げ長い目で助成する施策を願う。

製造業	焼酎製造販売	串間	コロナ関連の給付金や支援金の要件緩和をお願いする。 (50%downでは、経営上そのものが破綻します)
製造業	自動車タイヤ製造業	都城	原材料及び海上運賃に大幅な高騰が見られ、従来通りの見通しが立てにくい状況。コロナ禍における副次的影響であり、リスク圧縮が課題。
製造業	電気機器製造	宮崎	飲食、観光、産業への手厚い支援をお願いします。
製造業	焼酎製造業	小林	経済活動を活性化させる策を期待している。
小売業	食品小売業	高鍋	本当に助成金・補助金を必要としている事業者へその支援が届いていない。一方的な最低賃金のアップ等、自社の雇用を維持できない。全て外注に出した方がリスクが少ない。地域経済を回す政策を意識して欲しい。
小売業	総合小売業	都城	プレミアム商品券やニクPAY等の対策は効果が大きい。引き続き地域経済の活性化に繋がる景気対策を希望する。
小売業	衣服小売業	延岡	中小企業が給付金や支援金を国、県、市から受け取りやすいような条件にして欲しい。消費が増え、企業の収入が増える為に消費税の減税をして欲しい。

小売業	石油小売	小林	様々な分野で、コロナ禍の影響が出て来ているので、素速く的確な対応を望む。
小売業	飲食業	西都	西都市の人口が心配。コロナのせいで赤ちゃんも減るだろう。若い人が子育てしやすい市政を！！子どもを守る市政を！！後はヒマラヤの氷の中にみつかった2万4千種のウイルス早めに手を打った方が・・・
小売業	小売酒販店	日南	コロナの一日も早い収束と都市部の人の流れの回復。
小売業	酒類食料品小売業	宮崎	コロナ対策をいろいろしているが、中途半端に終わらせずにもっと徹底的にするべきだと思う。支援金、助成金に関しては、業種業態や規模によって算出してほしい。格差が大きすぎる。
小売業	食料品小売業	高鍋	飲食業以外にも支援をしていただきたい。
小売業	記念品販売	小林	10月より最低賃金の改定により、人件費が増える事は確実である。介護報酬(国負担)の見直しを考えてもらいたい。
建設業	土木建設業	日南	東九州自動車道早期開通に向けて予算確保。

建設業	建設工事業	日南	飲食店ばかりではなく他の中小企業にも補助、助成をしてほしい。 (ウッドショックによる木材価格等の上昇等にも補助してほしい)
建設業	建築・大工・とび土工・屋根・タイルれんが・ブロック・鋼構造物・内装仕上・建具工事業	宮崎	発注工事に対して、業種の分離発注工事を増加して欲しい。
建設業	塗装業	延岡	自動車産業の生産数減少は、海外のコロナ蔓延の影響や、半導体関連部品の確保が厳しくなったことによって、日本全体で影響が出ています。何かしら対策できることがあるのなら、早急を実施してもらいたい。
建設業	建設業	串間	自粛の世の中で家を建てたい人も減りローンを組めるのもほぼ公務員。衣食住の中で食以外の流通は止まっているようです。食も外食産業には厳しいところ穏やかな世の中に一日も早くなってほしい。
建設業	電気工事	延岡	コロナ禍の新規感染者の減少傾向にある現状が継続してゆくことを願っている。感染防止対策をこの状況に応じたこまめなルールや指針を厳しく指示・指導して頂きたい。
建設業	木製家具、建具工事、内装工事、木工工事、建築一式工事	宮崎	建設資材の高騰の影響が経営に重くのしかかってくると想像している。これから着工する公共工事への影響を国、県として対応していただきたい。
建設業	電気工事業	西都	IT補助金等は一度受給されたら次年度以降の審査に外れる傾向がある。中規模以上の企業では理解できるが、小規模企業には枠を拡充して欲しい。

卸売業	酒類卸売業	日南	今一度、利子、無担保で融資を受けたい。無担保期間を10年位にしてほしい。
卸売業	建築・木工・金物	都城	今後は、もっと忙しくなる。人員増の予定。
卸売業	青果卸	日南	コロナが大分収束したものの、この2年間位の損失を取り戻すのは難しい。早急な資金援助(貸出し)をしてもらわないと経営者はストレスで体がもたない。
卸売業	業務用製品卸	日向	これまでのコロナ対策は愚策が続いおり、政権の質が変わらなければ中小企業は来年以降さらに悪化していくことと思います。弊社以外にも多数ありますが、協力金、補助金等、一切該当するものがなく、自力で維持していることに閉塞感が強い。コロナと付き合う政策に転換することを切に希望。
サービス業	不動産管理	日南	今日(10/1)から緊急事態が解除になり、新しい総裁も決まった。これからの経済対策に期待したい。
サービス業	タクシー業	日向	営業所の存続も厳しくなりそう。
サービス業	ホテル業	都城	コロナ禍から脱出し、日常の回復のための施策をお願いしたい。

サービス業	理美容業	西都	JAと比較すると商工業は補助金が乏しい。農業は所得がかなり上がっている。今後の商業はまだまだ厳しい。
サービス業	ホテル業	日南	1.早期のGOTOトラベル再スタートをお願いしたい。 ただし、割引率を前回よりおさえて長期間の事業を期待したい。 2.感染症対策への設備投資を行うが、緊急事態宣言等で需要消失すると投資効果がえられず支出だけが増大する。補助金も来期以降(補助率も高め)もお願いしたい。
サービス業	タクシー業	小林	・多角化に向けた補助事業をしてほしい。 ・来年以降の長期借入金の返済見直しを金融機関が対応してほしい。